

危機対策本部 議事録

1. 日 時 令和2年2月26日（水） 午後00時30分～午後1時35分
2. 場 所 本学3号館3階会議室

会に先立ち、理事長より、新型コロナウイルスの対策について緊急を要するため、危機管理規程に基づき、危機対策本部を設置し、お集まりをいただき、喫緊の課題について方針を決め関係者への周知を行うことが説明され、検討内容に入った。

検討内容

1) 現状把握

- ・教職員、学生、生徒の現時点での感染や体調不良者の報告なし
- ・一部、留学生が中国やベトナムに帰国。国際班より帰国前に確認作業を行い、帰国後の大学へ来るまでの期間を2週間あけるように指導済み
- ・高校の韓国帰国者については、帰国後はホテルに泊まるようにしている

2) 海外渡航教職員及び学生・留学生への対応

- ・海外渡航後の自宅待機の期間については、2週間と定め、登校を禁止する。
また、その期間中、「帰国後体調管理報告書」に基づき報告を義務付ける。
- ・自宅待機の期間中、学生の講義は公欠扱いとし、教員については特休とするが、補講で対応する
- ・本学関係者がどこにいるかの把握をすることの指示がなされた

3) イベントに対する対応

- ・高校の卒業式は予定通り実施する
- ・参加者（生徒、保護者、教職員等）はマスク着用とするが、当日、マスクを着用していない者へは本学より配布する
- ・来賓も同様とし、外部からは参加をご遠慮いただく
- ・証書授与や答辞などの登壇時は、マスクをはずして行う
- ・大学の卒業式も高校と基本的には同様に実施する。
ただし、今後の状況を見て3月6日に最終決定する
- ・式の短縮するため、学会表彰など取り止めてコースで渡すなど工夫を検討する
- ・同窓会の祝賀会については中止を相談する

- ・入学試験については、実施するが、受験生にマスク着用などアナウンスする
体調不良等受験できない場合の対応等については、他大学の状況等を踏まえ検討をする
- ・入学式については、留学生の初来日後の期間が2週間ない場合は参加させない
別途、留学生の入学式を実施することも検討する
- ・別科については、講義開始を2週間ずらすことで進める
- ・高校の韓国生徒については、帰国を見送るように説得する

4) 衛生部品等に関する臨時予算の確保

- ・衛生備品の発注については、物が手に入りづらくなっている
- ・必要な備品類は予備費 50～100万円

5) 情報の連絡体制

- ・高校は校長、事務は局長、大学教員は平子副学長とする
- ・保健センターは全体的な確認
- ・衛生委員会を中心に活動し、